

平成 26 年 6 月 20 日

熊本県水産研究センター 資源研究部
tel 0964-56-2511, fax 0964-56-4533
<http://www.suiken.pref.kumamoto.jp/>

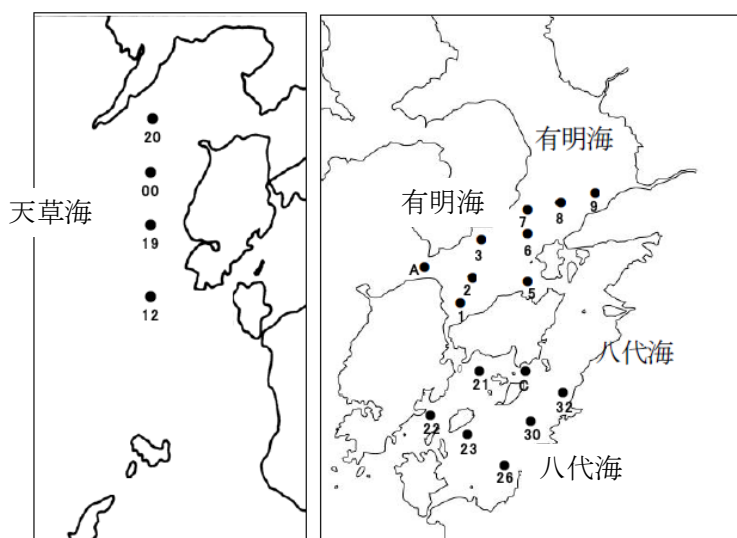
仔稚魚モニタリング調査結果概要（H25 カタクチイワシまとめ）

水産研究センターでは、毎月 1 回、本県の重要な魚類の仔稚魚の発生状況について調査し、漁獲予測等への活用を目指しています。

今回は、カタクチイワシについて未報告の魚卵の出現数等を含め、1 年総括版としてお知らせします。調査定点は下図のとおりで、採集方法は、円形稚魚ネット（直径 1.3m）で、昼間に表層及び中層曳きにより採集しています。

1 調査地点

有明海 9 地点、八代海 7 地点、天草海 4 地点で行いました。



2 結果概要

有明海及び八代海では、平成 24 年度と同様に、春季にカタクチイワシ卵が多い傾向がみられました。仔稚魚は 5 月から 10 月に確認されましたが、有明海では 7 月が最も多くみられました。（10 月は全 9 地点中 3 地点のみの観測）

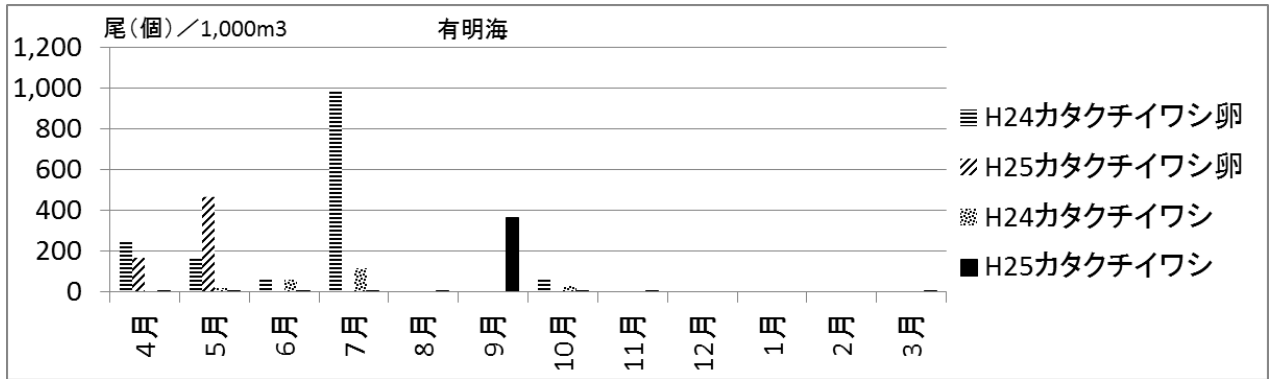
天草海では、仔稚魚は 5 月に多くみられました（6, 10, 11 月は欠測）。

比較のため平成 24 年度の卵・仔稚魚数の結果を併せ、以下にグラフ（※）を掲載します。

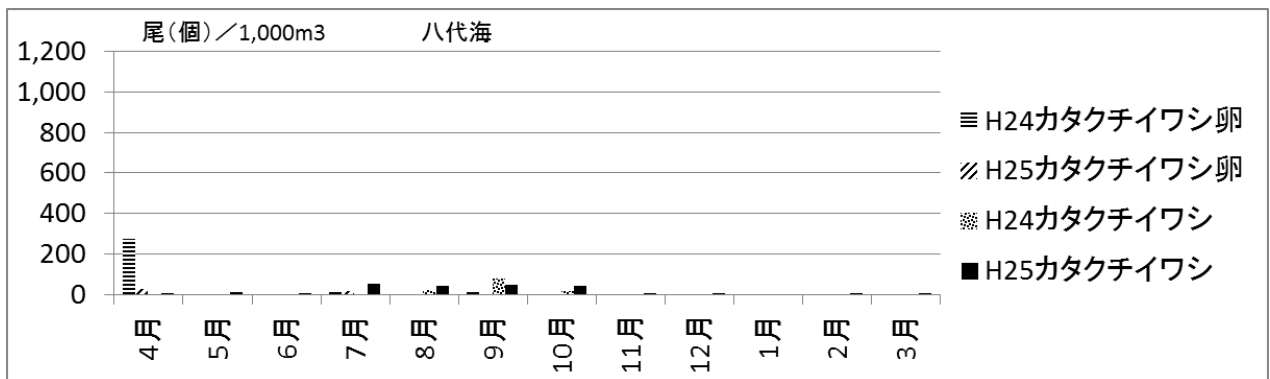
※グラフの単位は、卵仔稚魚の出現数を海水 1,000 m³当りに換算した個体数密度です。

また、各海域の当月毎の全調査地点の平均を表示しています。

有明海



八代海



天草海

